

人事異動…  
令和7年度国土交通省予算概算要求等…  
海事レポート2024…  
バスの日…最新たび情報…  
公共輸送モニター提言…  
鉄道の日…  
10 9 8 7 6 5

4月、こどもまんか社会  
庭所が発足し（2023年  
4月）、こどもまんか社会  
研究所の将来推計人口で  
人減少している。  
国立社会保障・人口問題  
研究室による  
この中、こども家  
庭所が発足し（2023年  
4月）、こどもまんか社会  
研究所の将来推計人口で  
人減少している。

運輸振興局は、本年6月28日に令和6年版国土交通白書が公表された。本白書は、第一部・第二部に加えて「令和6年能登半島地震への対応」について記述した特集で構成されている。第一部は特定のテーマについて調査分析、記述を行い、第二部は主に令和5年度の国土交通行政の各分野の動向を政策課題ごとに報告している。

第一部のテーマは「持続可能な暮らしと社会の実現」である。少子化の進行は、将来にわたって、人口（特に生産年齢人口）の減少、高齢化の進行を通じ、経済規模の縮小、産業や社会の担い手不足、地域の衰退等、我が国の経済や社会に深刻な影響を及ぼすことが何よりも重要である。

このように、少子化に歯止めをかけ、出生率を向上させることが何よりも重要である。このような中、こども家庭所が発足し（2023年4月）、こどもまんか社会研究所の将来推計人口で人減少している。

## 第1節 人口減少における課題

### 人口減少と少子化

## 国土交通行政

や次元の異なる少子化対策の実現に向け、「こども大綱」や「こども未来戦略」が策定された（同年12月閣議決定）。また、第三次国土形成計画（全国計画）（同年7月閣議決定）において、「持続可能な暮らし」と「社会の実現」をテーマとして、地方の危機など直面する課題に対応するため、地域の活性化の将来ビジョンとして「地域生活圏の形成」を打ち出すなど、「新時代後も「挑戦」し続けること

が肝要である。

こうした背景等を踏まえ、「持続可能な暮らし」と「社会の実現」に向けた国土交通行政は、社会資本、交通をはじめ国民一人ひとりの暮らしと密接に関わっており、人口減少がもたらす影響を最小限に抑え、我が国の経済成長、地域の足の確保や、産業や社会の担い手不足への対応、災害の激甚化・頻発化への対応等の大きな課題に、今後も「挑戦」し続けること

## 国土交通省総合政策局政策課

# 令和6年版「国土交通白書」の概要



発行所  
一般運輸振興協会  
財團法人 千代田区麹町4-5  
TEL 03-3221-8431  
FAX 03-3221-8433  
ホームページ  
<https://www.transport-pf.or.jp>  
Eメールアドレス  
transport@hi-ho.ne.jp  
☆隔月20日発行  
1部210円(税込)  
1,260円(税込)  
東京 1-24344

## 主な記事

人事異動…  
令和7年度国土交通省予算概算要求等…  
海事レポート2024…  
バスの日…最新たび情報…  
公共輸送モニター提言…  
鉄道の日…  
10 9 8 7 6 5

公共輸送モニター提言…  
バスの日…最新たび情報…  
鉄道の日…  
10 9 8 7 6 5

主な記事

人事異動…  
令和7年度国土交通省予算概算要求等…  
海事レポート2024…  
バスの日…最新たび情報…  
公共輸送モニター提言…  
鉄道の日…  
10 9 8 7 6 5

主な記事

人事異動…  
令和7年度国土交通省予算概算要求等…  
海事レポート2024…  
バスの日…最新たび情報…  
公共輸送モニター提言…  
鉄道の日…  
10 9 8 7 6 5

主な記事

人事異動…  
令和7年度国土交通省予算概算要求等…  
海事レポート2024…  
バスの日…最新たび情報…  
公共輸送モニター提言…  
鉄道の日…  
10 9 8 7 6 5

主な記事

人事異動…  
令和7年度国土交通省予算概算要求等…  
海事レポート2024…  
バスの日…最新たび情報…  
公共輸送モニター提言…  
鉄道の日…  
10 9 8 7 6 5

主な記事

人事異動…  
令和7年度国土交通省予算概算要求等…  
海事レポート2024…  
バスの日…最新たび情報…  
公共輸送モニター提言…  
鉄道の日…  
10 9 8 7 6 5

主な記事

人事異動…  
令和7年度国土交通省予算概算要求等…  
海事レポート2024…  
バスの日…最新たび情報…  
公共輸送モニター提言…  
鉄道の日…  
10 9 8 7 6 5

主な記事

人事異動…  
令和7年度国土交通省予算概算要求等…  
海事レポート2024…  
バスの日…最新たび情報…  
公共輸送モニター提言…  
鉄道の日…  
10 9 8 7 6 5

主な記事

人事異動…  
令和7年度国土交通省予算概算要求等…  
海事レポート2024…  
バスの日…最新たび情報…  
公共輸送モニター提言…  
鉄道の日…  
10 9 8 7 6 5

主な記事

人事異動…  
令和7年度国土交通省予算概算要求等…  
海事レポート2024…  
バスの日…最新たび情報…  
公共輸送モニター提言…  
鉄道の日…  
10 9 8 7 6 5

主な記事

人事異動…  
令和7年度国土交通省予算概算要求等…  
海事レポート2024…  
バスの日…最新たび情報…  
公共輸送モニター提言…  
鉄道の日…  
10 9 8 7 6 5

主な記事

人事異動…  
令和7年度国土交通省予算概算要求等…  
海事レポート2024…  
バスの日…最新たび情報…  
公共輸送モニター提言…  
鉄道の日…  
10 9 8 7 6 5

主な記事

人事異動…  
令和7年度国土交通省予算概算要求等…  
海事レポート2024…  
バスの日…最新たび情報…  
公共輸送モニター提言…  
鉄道の日…  
10 9 8 7 6 5

主な記事

人事異動…  
令和7年度国土交通省予算概算要求等…  
海事レポート2024…  
バスの日…最新たび情報…  
公共輸送モニター提言…  
鉄道の日…  
10 9 8 7 6 5

主な記事

人事異動…  
令和7年度国土交通省予算概算要求等…  
海事レポート2024…  
バスの日…最新たび情報…  
公共輸送モニター提言…  
鉄道の日…  
10 9 8 7 6 5

主な記事

人事異動…  
令和7年度国土交通省予算概算要求等…  
海事レポート2024…  
バスの日…最新たび情報…  
公共輸送モニター提言…  
鉄道の日…  
10 9 8 7 6 5

主な記事

人事異動…  
令和7年度国土交通省予算概算要求等…  
海事レポート2024…  
バスの日…最新たび情報…  
公共輸送モニター提言…  
鉄道の日…  
10 9 8 7 6 5

主な記事

人事異動…  
令和7年度国土交通省予算概算要求等…  
海事レポート2024…  
バスの日…最新たび情報…  
公共輸送モニター提言…  
鉄道の日…  
10 9 8 7 6 5

主な記事

人事異動…  
令和7年度国土交通省予算概算要求等…  
海事レポート2024…  
バスの日…最新たび情報…  
公共輸送モニター提言…  
鉄道の日…  
10 9 8 7 6 5

主な記事

人事異動…  
令和7年度国土交通省予算概算要求等…  
海事レポート2024…  
バスの日…最新たび情報…  
公共輸送モニター提言…  
鉄道の日…  
10 9 8 7 6 5

主な記事

人事異動…  
令和7年度国土交通省予算概算要求等…  
海事レポート2024…  
バスの日…最新たび情報…  
公共輸送モニター提言…  
鉄道の日…  
10 9 8 7 6 5

主な記事

人事異動…  
令和7年度国土交通省予算概算要求等…  
海事レポート2024…  
バスの日…最新たび情報…  
公共輸送モニター提言…  
鉄道の日…  
10 9 8 7 6 5

主な記事

人事異動…  
令和7年度国土交通省予算概算要求等…  
海事レポート2024…  
バスの日…最新たび情報…  
公共輸送モニター提言…  
鉄道の日…  
10 9 8 7 6 5

主な記事

人事異動…  
令和7年度国土交通省予算概算要求等…  
海事レポート2024…  
バスの日…最新たび情報…  
公共輸送モニター提言…  
鉄道の日…  
10 9 8 7 6 5

主な記事

人事異動…  
令和7年度国土交通省予算概算要求等…  
海事レポート2024…  
バスの日…最新たび情報…  
公共輸送モニター提言…  
鉄道の日…  
10 9 8 7 6 5

主な記事

人事異動…  
令和7年度国土交通省予算概算要求等…  
海事レポート2024…  
バスの日…最新たび情報…  
公共輸送モニター提言…  
鉄道の日…  
10 9 8 7 6 5

主な記事

人事異動…  
令和7年度国土交通省予算概算要求等…  
海事レポート2024…  
バスの日…最新たび情報…  
公共輸送モニター提言…  
鉄道の日…  
10 9 8 7 6 5

主な記事

人事異動…  
令和7年度国土交通省予算概算要求等…  
海事レポート2024…  
バスの日…最新たび情報…  
公共輸送モニター提言…  
鉄道の日…  
10 9 8 7 6 5

主な記事

人事異動…  
令和7年度国土交通省予算概算要求等…  
海事レポート2024…  
バスの日…最新たび情報…  
公共輸送モニター提言…  
鉄道の日…  
10 9 8 7 6 5

主な記事

人事異動…  
令和7年度国土交通省予算概算要求等…  
海事レポート2024…  
バスの日…最新たび情報…  
公共輸送モニター提言…  
鉄道の日…  
10 9 8 7 6 5

主な記事

人事異動…  
令和7年度国土交通省予算概算要求等…  
海事レポート2024…  
バスの日…最新たび情報…  
公共輸送モニター提言…  
鉄道の日…  
10 9 8 7 6 5

主な記事

人事異動…  
令和7年度国土交通省予算概算要求等…  
海事レポート2024…  
バスの日…最新たび情報…  
公共輸送モニター提言…  
鉄道の日…  
10 9 8 7 6 5

主な記事

人事異動…  
令和7年度国土交通省予算概算要求等…  
海事レポート2024…  
バスの日…最新たび情報…  
公共輸送モニター提言…  
鉄道の日…  
10 9 8 7 6 5

主な記事

人事異動…  
令和7年度国土交通省予算概算要求等…  
海事レポート2024…  
バスの日…最新たび情報…  
公共輸送モニター提言…  
鉄道の日…  
10 9 8 7 6 5

主な記事

人事異動…  
令和7年度国土交通省予算概算要求等…  
海事レポート2024…  
バスの日…最新たび情報…  
公共輸送モニター提言…  
鉄道の日…  
10 9 8 7 6 5

主な記事

人事異動…  
令和7年度国土交通省予算概算要求等…  
海事レポート2024…  
バスの日…最新たび情報…  
公共輸送モニター提言…  
鉄道の日…  
10 9 8 7 6 5

主な記事

人事異動…  
令和7年度国土交通省予算概算要求等…  
海事レポート2024…  
バスの日…最新たび情報…  
公共輸送モニター提言…  
鉄道の日…  
10 9 8 7 6 5

主な記事

人事異動…  
令和7年度国土交通省予算概算要求等…  
海事レポート2024…  
バスの日…最新たび情報…  
公共輸送モニター提言…  
鉄道の日…  
10 9 8 7 6 5

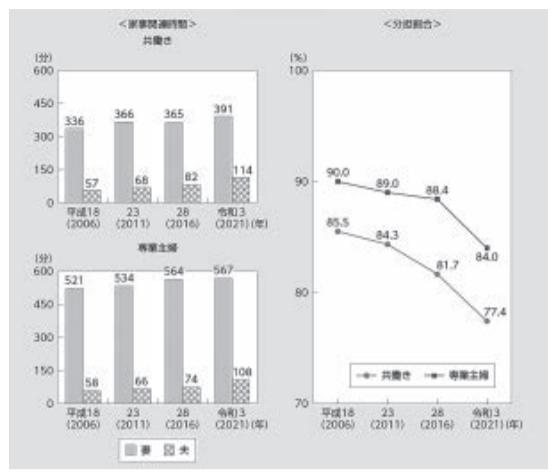
主な記事

人事異動…  
令和7年度国土交通省予算概算要求等…  
海事レポート2024…  
バスの日…最新たび情報…  
公共輸送モニター提言…  
鉄道の日…  
10 9 8 7 6 5

主な記事

人事異動…  
令和7年度国土交通省予算概算要求等…  
海事レポート2024…  
バスの日…

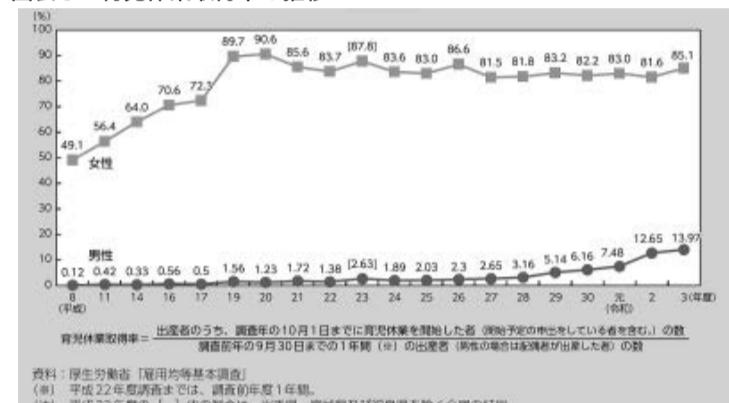
図表4 6歳未満の子どもを持つ妻・夫の家事関連時間及び妻の分担割合の推移(週全体平均)



(備考) 1. 総務省「社会生活基本調査」より作成。  
2. 「専業主婦」夫が有職で妻が無職の世帯。「共働き」は、夫が有職で妻も有職(共稼ぎ)の世帯。  
3. 「家事関連時間」は「家事」、「介護・看護」、「育児」及び「買い物」の合計。  
4. 分担割合は、(妻の家事関連時間) / (妻と夫の家事関連時間の合計) × 100で算出。

資料) 総務省「社会生活基本調査」

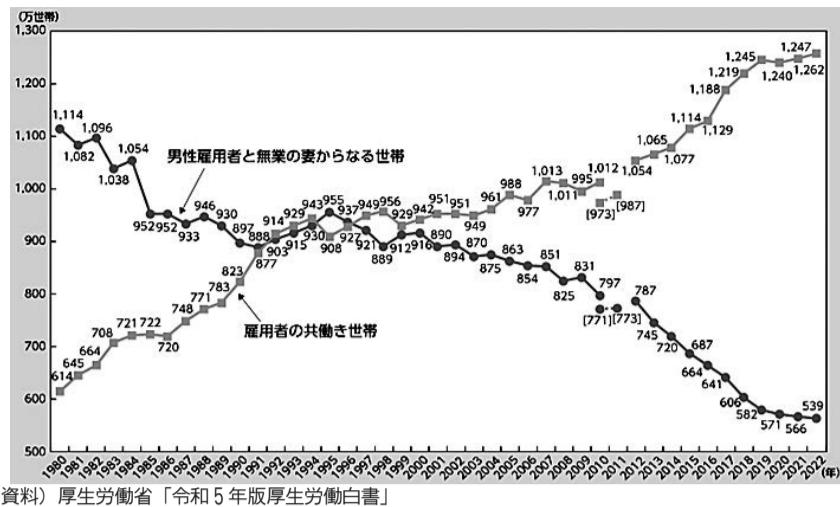
図表5 育児休業取得率の推移



(備考) 育児休業取得率 = 出産者のうち、調査年の10月1日までに育児休業を開始した者(既婚予定の中止をしている者を含む)の数  
調査前の9月30日までの1年間(△)の出産者(男性の場合は配偶者が出産した者の)の数

資料) 厚生労働省「令和5年版厚生労働白書」

図表3 共働き等世帯数の年次推移



資料) 厚生労働省「令和5年版厚生労働白書」

は、近年は上昇傾向にあるものの、2021年時点の取得率は13.97%と女性に比べて低い水準であり、男性の取得率向上に向けた取組みが必要である。(図表5)

(2) 期待される取組み  
①男女共に子育てしやすい就業環境の整備  
②女性の柔軟な働き方の推進  
③女性の産前産後休業・育児休業の取得を推進するだけなく、復職後の希望に

応じた部署や事業所への異動、時間単位での年次有給休暇取得の推進等も重要である。また、短時間勤務制度等、子どもの年齢に合わせて勤務時間が設定できる柔軟な働き方を導入することにより、女性の育児時間の確保が可能となり、仕事と育児の両立に資することが期待される。

なった。産後パ育休に関する研修の実施や、相談窓口の設置、産後パ育休取扱者の事例収集・事例周知等、産後パ育休を取得しやすいう環境づくりを推進することにより、産後パ育休の取得が促され、男性の育児時間の創出につながることが期待される。

した取得することが可能

なった。産後パ育休に

する研修の実施や、相談窓

口の設置、産後パ育休取

扱者の事例収集・事例周知

等、産後パ育休を取得し

やすいう環境づくりを推進

することにより、産後パ育

休の取得が促され、男性の

育児時間の創出につながる

ことが期待される。

なった。産後パ育休に

する研修の実施や、相談窓

口の設置、産後パ育休取

扱者の事例収集・事例周知

等、産後パ育休を取得し

やすいう環境づくりを推進

することにより、産後パ育

休の取得が促され、男性の

育児時間の創出につながる

ことが期待される。

なった。産後パ育休に

する研修の実施や、相談窓

口の設置、産後パ育休取

扱者の事例収集・事例周知

等、産後パ育休を取得し

やすいう環境づくりを推進

することにより、産後パ育

休の取得が促され、男性の

育児時間の創出につながる

ことが期待される。

なった。産後パ育休に

する研修の実施や、相談窓

口の設置、産後パ育休取

扱者の事例収集・事例周知

等、産後パ育休を取得し

やすいう環境づくりを推進

することにより、産後パ育

休の取得が促され、男性の

育児時間の創出につながる

ことが期待される。

なった。産後パ育休に

する研修の実施や、相談窓

口の設置、産後パ育休取

扱者の事例収集・事例周知

等、産後パ育休を取得し

やすいう環境づくりを推進

することにより、産後パ育

休の取得が促され、男性の

育児時間の創出につながる

ことが期待される。

なった。産後パ育休に

する研修の実施や、相談窓

口の設置、産後パ育休取

扱者の事例収集・事例周知

等、産後パ育休を取得し

やすいう環境づくりを推進

することにより、産後パ育

休の取得が促され、男性の

育児時間の創出につながる

ことが期待される。

なった。産後パ育休に

する研修の実施や、相談窓

口の設置、産後パ育休取

扱者の事例収集・事例周知

等、産後パ育休を取得し

やすいう環境づくりを推進

することにより、産後パ育

休の取得が促され、男性の

育児時間の創出につながる

ことが期待される。

なった。産後パ育休に

する研修の実施や、相談窓

口の設置、産後パ育休取

扱者の事例収集・事例周知

等、産後パ育休を取得し

やすいう環境づくりを推進

することにより、産後パ育

休の取得が促され、男性の

育児時間の創出につながる

ことが期待される。

なった。産後パ育休に

する研修の実施や、相談窓

口の設置、産後パ育休取

扱者の事例収集・事例周知

等、産後パ育休を取得し

やすいう環境づくりを推進

することにより、産後パ育

休の取得が促され、男性の

育児時間の創出につながる

ことが期待される。

なった。産後パ育休に

する研修の実施や、相談窓

口の設置、産後パ育休取

扱者の事例収集・事例周知

等、産後パ育休を取得し

やすいう環境づくりを推進

(前頁からのつづき)  
 困ることとして、「買い物」「通院」を挙げている高齢者は多く、高齢者の暮らしへにおける公共交通の重要度は高い。高齢化が進行する地域において、生活サービス施設へのアクセスとして、公共交通は欠くことができない移動手段であり、高齢者を含めた交通弱者に対する移動手段の確保が課題である。(図表8・前頁)

**② 地域維持・存続の困難化**  
 (インフラの老朽化)  
 道路橋やトンネル、河川、上下水道、港湾等のインフラは、防災・減災機能や人々の安全・安心な社会経済活動の基盤であるが、その多くが高度経済成長期以降に集中的に整備されており、今後、建設から50年以上経過するインフラの割合は加速度的に増加していくことが見込まれる。

インフラに不具合が生じてから対策を行う「事後保全」から、不具合が生じる前に対策を行う「予防保全」へ転換するなどしていながら、適切な維持管理が求められる中、多くのインフラを管理する地方公共団体においては、財政面・体制面から老朽化への対応が課題となっている。

**(地域「ミニミニ」の機能低下)**  
 地域での公共交通は、地域の社会経済活動に不可欠な基盤であり、その維持・存続が求めらるらず、地域社会の維持に支障をきたすおそれがある。地域コミュニティの活動は、街の美化・保全、防犯的な交通ネットワークの構

築を図ることが重要である。バスやタクシー等が運行されない過疎地域等において、市町村、NPO等が自家用車を使用して有償で運送する自家用有償旅客運送や、自宅や指定場所から目的地まで、途中乗り合いで乗せながら、それらの行き先に送迎するデマンド型乗合タクシー等の活用により、高齢者を含めた交通弱者に対する移動手段の確保につながることが期待される。

**(2) 期待される取組み**

**① 生活利便性の改善**  
 (生活サービスを維持する)  
**② 地域の持続性**  
 (関係人口の創出・拡大)

地域づくり、生活サービス提供機能の低下・喪失のおそれがある地域においては、生活サービス施設が維持・存続できよう、近隣地域を含む利用者の確保が必要不可欠である。そのためには、場所や時間の制約を解消するデジタル技術の活用により、近隣地域からの買い物や通院等の移動の負担の軽減を図ることも、その推進に当たっては、社会経済的な結びつきがある近隣地域同士が連携し、自治体や民間事業者、団体、住民等関係者が協働することで、地域全体で生活サービス提供機能を維持していくことが重視である。

**(地域における移動手段の確保)**  
 (地域における移動手段の重視)  
 少子高齢化・人口減少が進展する中、未来につながる変革と持続可能な社会を実現に向けて、担い手として取組みを強化することとしている。

**1. 国土交通分野における「国土強靭化基本計画」**  
 (2023年7月)では、エネルギー等ライフラインの強靭化や、新時代に地域力をつなぐ国土を目指す「第三次国土形成計画(全国計画)」(同年7月)等と一緒にして取組みを強化することとしている。

**2. 地域における移動手段の確保**  
 (地域における移動手段の重視)  
 少子高齢化・人口減少が進展する中、未来につながる変革と持続可能な社会を実現に向けて、担い手として取組みを強化することとしている。

**3. 地域「ミニミニ」の機能低下**  
 地域での高齢化の進行は、経済活動への影響のみならず、地域社会の維持に支障をきたすおそれがある。地域コミュニティの活動は、街の美化・保全、防犯的な交通ネットワークの構

築を図ることが重要である。バスやタクシー等が運行されない過疎地域等において、市町村、NPO等が自家用車を使用して有償で運送する自家用有償旅客運送や、自宅や指定場所から目的地まで、途中乗り合いで乗せながら、それらの行き先に送迎するデマンド型乗合タクシー等の活用により、高齢者を含めた交通弱者に対する移動手段の確保につながることが期待される。

**(3) インフラ維持管理の効率化**

新技術の活用や官民連携の促進のほか、地域の二元化に応じてインフラの廃止・除却や機能転換等を行う「集約・再編等」によるインフラストック適正化を進めるとともに、既存の行政区域にこだわらない広域的な視点で、複数・多分野のインフラを群としてたらし、効率的・効果的にマネジメントする取組み等が重要である。これらの取組みにより、持続可能なインフラメンテナンスの実現に向けて、予防保全型への本格化される。

**4. 地域における移動手段の確保**  
 (地域における移動手段の重視)  
 少子高齢化・人口減少が進展する中、未来につながる変革と持続可能な社会を実現に向けて、担い手として取組みを強化することとしている。

**5. 地域「ミニミニ」の機能低下**  
 地域での公共交通は、地域の社会経済活動に不可欠な基盤であり、その維持・存続が求めらるらず、地域社会の維持に支障をきたすおそれがある。地域コミュニティの活動は、街の美化・保全、防犯的な交通ネットワークの構

築を図ることが重要である。バスやタクシー等が運行されない過疎地域等において、市町村、NPO等が自家用車を使用して有償で運送する自家用有償旅客運送や、自宅や指定場所から目的地まで、途中乗り合いで乗せながら、それらの行き先に送迎するデマンド型乗合タクシー等の活用により、高齢者を含めた交通弱者に対する移動手段の確保につながることが期待される。

**(4) 地域の持続性**  
 (関係人口の創出・拡大)

地域づくり、生活サービス提供機能の低下による地域活力の低下が懸念される中、地域に住む人々のみならず、地域に必ずしも居住している地域外の人々にも地域の担い手としての活躍を促し、地域活力を維持・発展させることができ不可欠である。

そのためには、都市部から地方部への人の流れを促進させ、地域外から地域の祭りやイベントに毎年参加し運営にも携わる、副業・兼業で週末に地域の企業や

地域の魅力の創出にも貢献するとしており、経済発展とともに、市場に新たな社員へ「パパの育児」と仕事を

**（省人化・省力化の推進）**  
**i - Construct**  
 建設業は社会資本整備の担い手であると同時に、社会の安全・安心の確保を担つており、労働不足が進む中でも、その重要な役割を果たすために、生産性の向上が必要不可欠である。

国土交通省では、2016年度よりi - Constructionに取り組んでおり、ICTの活用等により、地域の移動手段の確保につながることが期待される。

高齢化・人口減少による利

用者の減少を受けて、鉄道やバス路線の廃止が続いている。同地域の生活交通の確保のため、「NPO法人はすみ振興会」は、自家用有償旅客運送「はすみデマンド」を導入し、デマンド型乗客運送等の移動サービスを提供することにより、地域の移動手段の確保につながることが期待される。

地域に継続的に多様な形で関わる関係人口の創出・

NPOで働くなど、特定の

地域の需要に応じた移動手段の確保

（地域の需要に応じた移動手段の確保）

島根県邑南町では、少子化による労働力不足の取り組み

（島根県邑南町では、少子化による労働力不足の取り組み）

(前頁からのつづき)

数で、多くの利用者を輸送することができる利点がある。また、次世代の交通システムであるBRT(Bus Rapid Transport)と組み合わせることにより、速達性・定時性の確保及び輸送能力の増大が可能となる。

### ③ダブル連結トラック

閉口

物流は、国民生活や経済活動を支える必要不可欠な社会インフラであるが、荷待ち・荷役に伴う長時間労働、価格競争に伴う厳しい取引環境・雇用環境等、物流が直面している諸課題は深刻化しており、物流を支える担い手の中でも、特にトラックドライバーが不足する原因となっている。ト

ラックドライバー不足や物流の効率化に資する取組みの一つとして、ダブル連結

8年4月に「自動運転に係

る制度整備大綱」を策定

し、レベル3(時速50キロ以下、晴天、高速道路上等の一定条件下での自動運転)以上の高度な自動運転の実用化を図るなど、必要な整備を行い、自動運転を活用した公共交通サービスの導入に向けた取組みを進めている。今後は、自家用車でのレベル4(遠隔監視の条件下で実現可能な完全自動運転)の実現と、移動サービスのレベル4の普及拡大目標としている。

注7

トレーラーを2台連

結させて走行する車両。1

台で通常のトラック2台分

の輸送が可能。

(図表11)

④自動運転

旅客や貨物輸送の運転者

不足の解消、高齢者等の移動支援や渋滞の緩和、生産性の向上等の社会課題を解決する手段として、自動運転の社会実装が求められて

いる。

国土交通省では、2011

年4月に「自動運転に係

る制度整備大綱」を策定

し、レベル3(時速50キロ以下、晴天、高速道路上等の一定条件下での自動運転)以上の高度な自動運転の実用化を図るなど、必要な整備を行い、自動運転を活用した公共交通サービスの導入に向けた取組みを進めている。今後は、自家用車でのレベル4(遠隔監視の条件下で実現可能な完全自動運転)の実現と、移動サービスのレベル4の普及拡大目標としている。

(図表11)

⑤路車協調システム

「路車協調システム」

は、交差点等に設置したセ

ンサやカメラ等によって検

知した道路状況を、自動運

転車両等へ情報提供する仕

組みである。

自動運転分野と連携する

道路分野では、これまで、

道の駅等において自動運転

サービスの実証実験を実施

するところも、車両単独で

は把握困難な道路状況に関

する情報提供等について、

官民連携による共同研究を

推進してきた。今後は、道

路インフラによる「路車協

調システム」の実証実験を

実施し一般道の交差点等

における状況の検知や、高

速道路における合流支援情

報・落下物情報・工事規制

情報を自動運転車両等へ

提供する環境について整備

・検証する。

(自動運転・隊列走行BR

T)

東広島市は、西日本旅客

鉄道㈱と連携し、バス路線

維持のため自動運転・隊列

ドローン物流の導入は、

ドローン

飛行の効率化、運航コストの低減等を

確保するため自動運転・隊列

ドローン

の実現に取り組んでいます。

具体的には、

AIを支援するAI

ターミナル

の実現に取り組んでいます。







# 9月20日は「バスの日」

「バスの日」は、明治36年9月20日に京都市にて二井商会がバス事業を開始した日です。当時は、写真のように幌無しの蒸気自動車の車体を改良し、6人乗りバスとして営業運行しました。このことを受け、日本バス協会は、昭和62年11月10日に9月20日を「バスの日」と定めました。

PRポスターを全国の乗合バス車内へ掲示／各地でイベント開催

日本バス協会では、安全安心なバス、人にやさしいバス、便利で快適なバスをご利用いただくために、様々なPRを行っております。「バスの日」の前後一か月間には、日本中の乗合バス車内にて下記ポスターを掲出いたします。また、「バスの日」にちなみ、全国各地で様々なイベントが開催されますので、ぜひ足を運んでみてください。

(日本バス協会HPにて、全国の「バスの日」のイベント情報や過去のポスターをご覧いただけます。<https://www.bus.or.jp/busday/>)



## 9月20日は、バスの日

バスのある風景を  
夢とともに  
走りつづけます

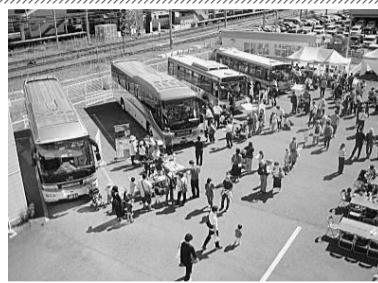


日本バス協会

令和6年度「バスの日」ポスター

### 各地区の「バスの日」 イベントの様子

(令和5年度)



新潟県：バスと綱引き大会

## ～最新たび情報～

1年に1度開帳の聖徳太子像鑑賞  
美食も味わう秋の京都ツアー販売中  
(株)阪急交通社【京都】



六波羅蜜寺

(株)阪急交通社は、伝統と文化をテーマにした新商品「2つの特別拝観と美食探求 紅葉の京都こだわりの旅2日間」(大阪発)を販売している。1年に1度開帳する広隆寺の秘仏・聖徳太子像や、12年に1度、辰年にだけ開帳される六波羅蜜寺の十一面觀音を参拝するツアー。

同商品では、2カ所の特別拝観や、老舗の京懐石の美食を味わえる。また、「阪急たびコト塾」の講師として、京都の四季折々の習わしや、神社・寺院の伝統的な祭り・行事などを解説している山村純也氏がツアーや同行し、見どころをレクチャーする。

出発日は11月22日(金)。代金は2～3人で1室利用した場合1人22万

円。宿泊先は、ホテルオークラ京都 岡崎別邸(京都府京都市)。

11月で終了の黒部湖遊覧船プラン  
ダムカレーやご当地のお土産も付く  
ANAホリデイ・イン信濃大町【長野県】



遊覧船「ガルベ」

ANAホリデイ・インリゾート信濃大町くろよん(長野県大町市)は、黒部湖クルーズを満喫する宿泊プランを発売している。11月9日(土)で営業を終了する黒部湖の遊覧船「ガルベ」の乗船チケットなどが付く。

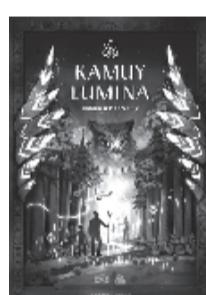
1969年に「くろべ丸」として営業を開始した現・ガルベは55年の歴史に幕を閉じる。

黒部ダム担当者は「黒部湖は立山連峰と後立山連峰を两岸に見ることができる絶景ポイント。湖上で見られる最後の機会を逃さないで!」とアピールしている。

プランには乗船チケットのほか、黒部ダム往復電気バスチケットや黒部ダムカレー、ご当地土産の引換券が盛り込まれている。

ANAホリデイ・インリゾート信濃大町くろよんのホームページにおける同プランの宿泊料金は、1人2万3,303円から(詳細はホテルにお問い合わせを)。期間は同船の運行最終日の11月9日(土)まで。

**阿寒湖の森ナイトウォーク**  
アイヌの世界観や自然を五感で体感  
阿寒アドベンチャーツーリズム株【北海道】



コンテンツのイメージ

阿寒アドベンチャーツーリズム株は11月9日(土)まで毎夜、自然体験コンテンツ「阿寒湖の森ナイトウォークKAMUYLUMINA」の2024年シーズンを開催している。

阿寒摩周国立公園内の阿寒湖の森を歩きながら、プロジェクションマッピングやシノグラフィー(光と音の舞台装置)など、デジタル技術で再現されたアイヌの神々「カムイ」の物語を冒險する企画。参加者が登場人物の一員となることで、物語に没入しながら「自然との共生」など、アイヌ文化の世界観や阿寒湖の自然美を五感で体感できるという。

阿寒湖の森は、阿寒湖温泉街に隣接した場所にありながら、明治から続く自然保護活動で、今なお手つかずの美しい自然に囲まれている。カムイルミナは「この地が誇る貴重な自然とアイヌ文化の魅力をより多くの人々に知ってもらいたい」という思いから企画されている。

開催時間は日没30分後から午後9時、または午後9時半まで。雨天決行。歩行距離は約1.2キロで、所要時間は50分ほど。チケット料金は大人(中学生以上)前売3,000円、当日3,500円、子供(小学生)前売1,500円、当日1,700円、未就学児は無料。

**ゴッホのヒマワリルーム提供**  
芸術とグルメの秋を感じるプラン  
アオアヲナルトリゾート【徳島県】



客室「ゴッホのヒマワリルーム」

アオアヲナルトリゾート(徳島県鳴門市)は11月30日(土)まで、ゴッホのヒマワリルームと食の展覧会ひまわりディナーを提供する。泊まれるアートギャラリーとして今年7月に誕生した「ゴッホのヒマワリ」をテーマにした客室で、芸術とグルメの秋におすすめの宿泊プランとして発売している。

夕食は、アルルのヒマワリ畑やサントマリーの海など、ゴッホの作品を彷彿とさせるスペシャルフレンチコースを用意した。プランは、2人1室で2万5,500円、3人1室で2万4,000円、4人1室で2万3,000円から。いずれも1泊2食付き1人当たり。朝食はテイクアウトして客室のバルコニーで食べることも可能。







